

作物生産学特論演習Ⅰ (2単位)

担当者氏名 本橋 強・丹羽克昌

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

作物生産学特論演習Ⅰでは、作物生産学特論Ⅰをふまえ、海外論文の文献紹介、ディスカッションおよびプレゼンテーション等を実施することにより、修士論文に対する研究課題の意義・位置づけ、研究のアプローチ法(研究の理論、技術の習得)、論文作成法(日本語および英語での文章表現)ならびにプレゼンテーション法(学会発表)などについて理解・習得させることを目的とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

遺伝学 育種学 遺伝子工学 ゲノム工学
染色体工学 細胞分子遺伝学 植物組織培養

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	研究課題の決定 (第1~3週)	・研究課題の決定について指導する。	・研究の意義・目的を把握しておく。
2	海外文献紹介 (第4~7週)	・海外文献を主とした論文紹介を行い、ディスカッションする。	・研究関連分野の論文収集とその理解に努める。
3	プレゼンテーション法 (1)(第8~9週)	・プレゼンテーションのためのパソコンソフトの利用法について指導する。	・パワーポイント利用。
4	研究のアプローチ法 (第10~13週)	・研究で用いられる実験の理論を理解させると共に、技術的指導をする。	・研究理論・手法を確実に把握する。
5	プレゼンテーション法 (2) (第14~15週)	・パワーポイント所作成法について指導する。	・研究成果の経過を発表し、検討を加える。 ◎ 海外文献を熟読するとともに、専門用語を下調べしておく。

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

遺伝・育種学、分子生物学に関わる専門書を通読すること

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

必要に応じて紹介する

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

出席および講義における質疑応答、ディスカッションなどで総合的に行う。

◆オフィスアワー

本橋: 月 10:30~12:00、丹羽: 水・木 12:10~13:00

◆その他受講上の注意事項

研究成果についてのディスカッションを密に行うので、積極的に取り組んで欲しい。